

移住希望者から選ばれる富山県に

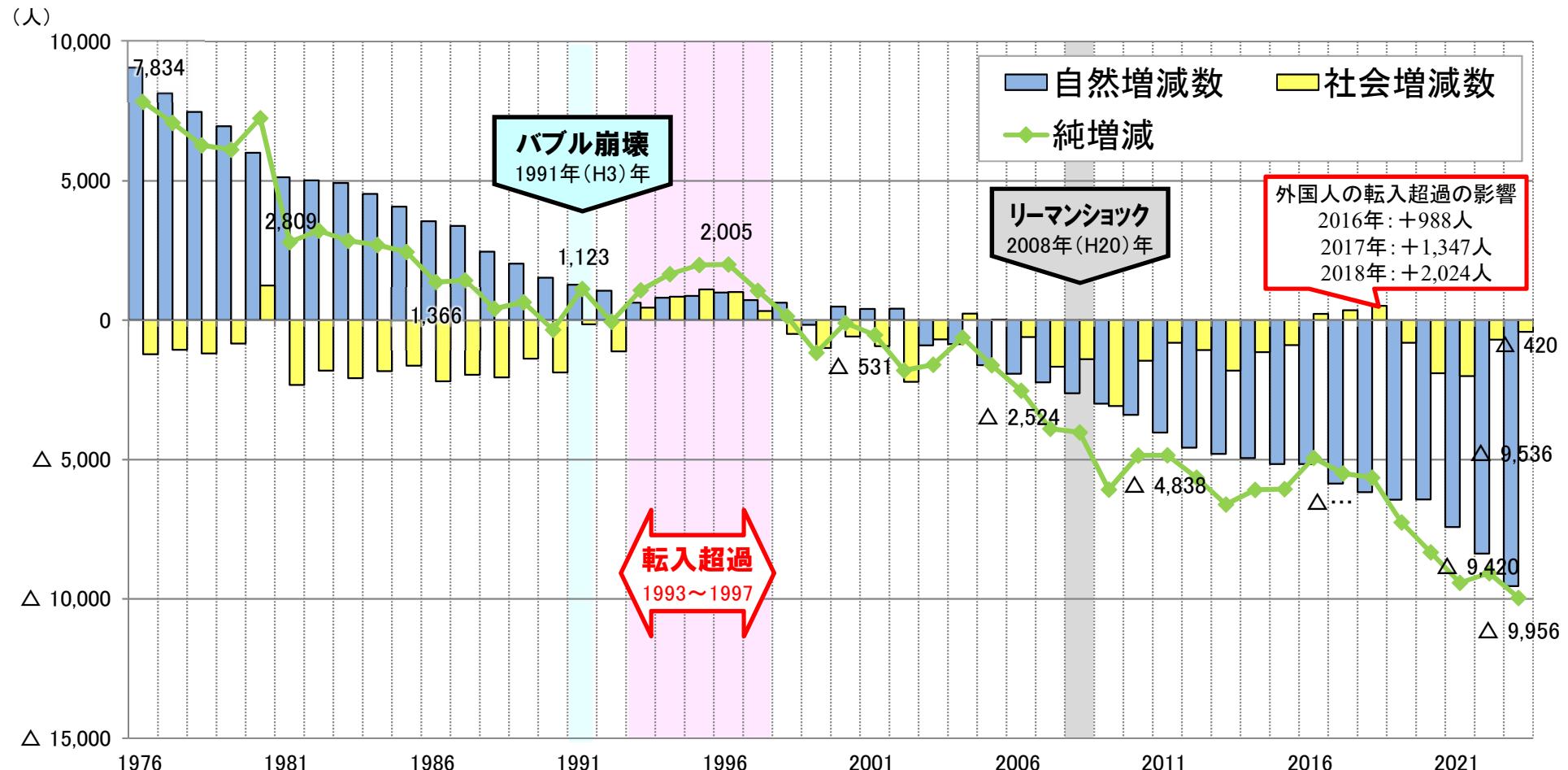
令和6年7月26日
地方創生局

目 次

1. 本県の社会動態・移住者数の状況
2. 移住促進のための取組み
3. 現在の課題と対応の方向性

本県の社会動態・移住者数の状況①

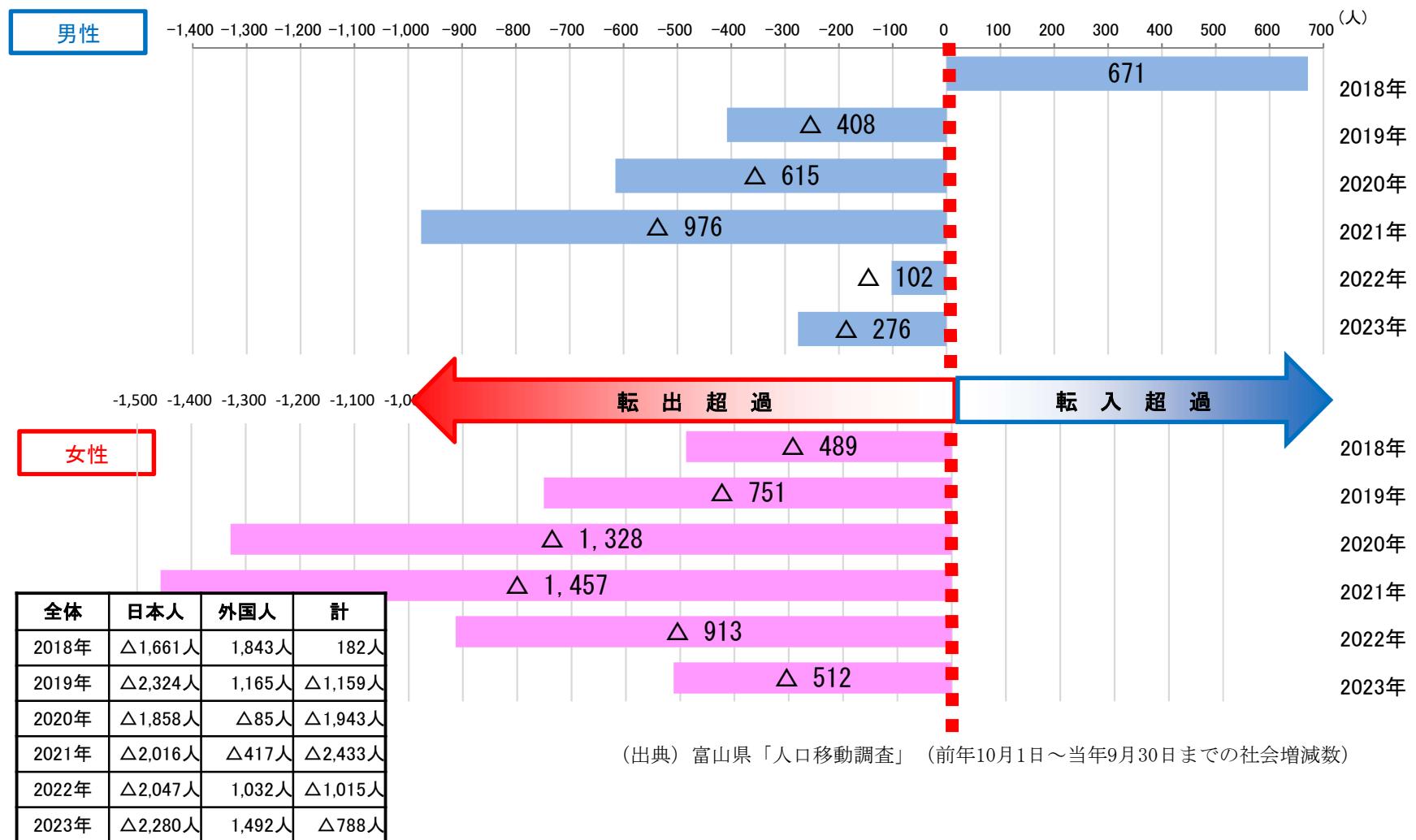
- 自然動態(出生－死亡)は、マイナス幅が増加傾向。
- 社会動態(転入－転出)は、外国人の移動増加などにより、マイナス幅が縮減するも、2019(R元)年以降はマイナスが続いている状況。



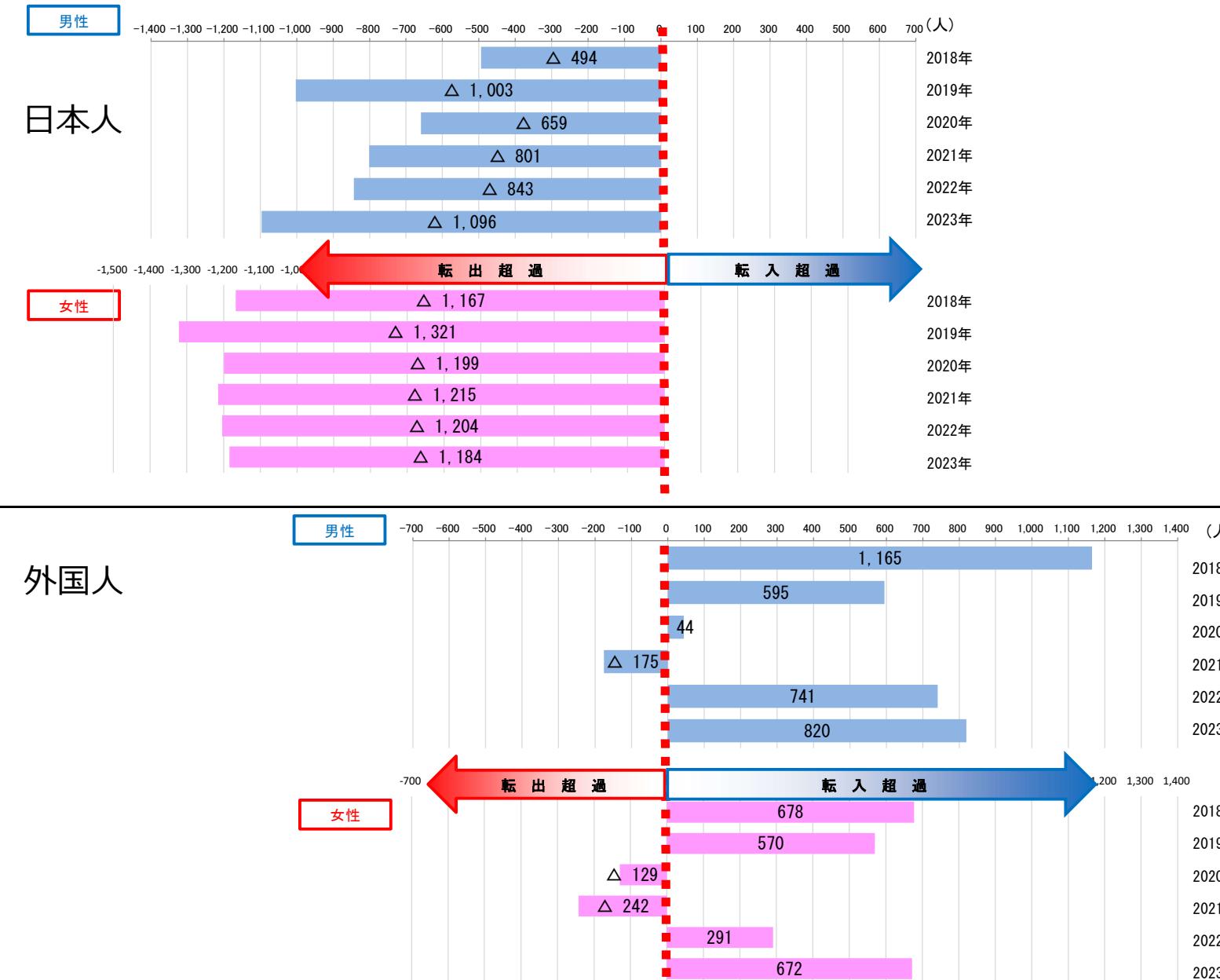
(出典) 富山県「人口移動調査」（前年10月1日～当年9月30日）

本県の社会動態・移住者数の状況②

- 富山県の15歳～34歳の社会移動の状況を見ると、2023年は788人の転出超過。
- ここ数年は、増減はしているものの、男性・女性ともに転出超過が継続。



本県の社会動態・移住者数の状況③

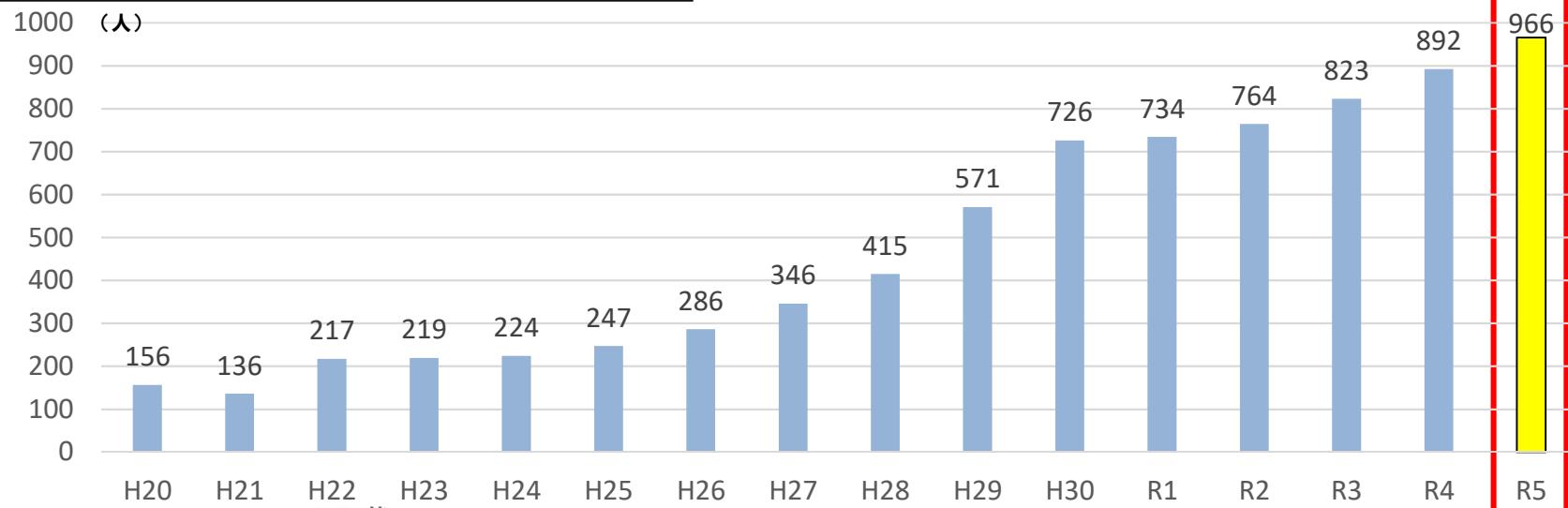


(出典) 富山県「人口移動調査」（前年10月1日～当年9月30日までの社会増減数）
 (出典) 富山県「人口移動調査」（前年10月1日～当年9月30日までの社会増減数）

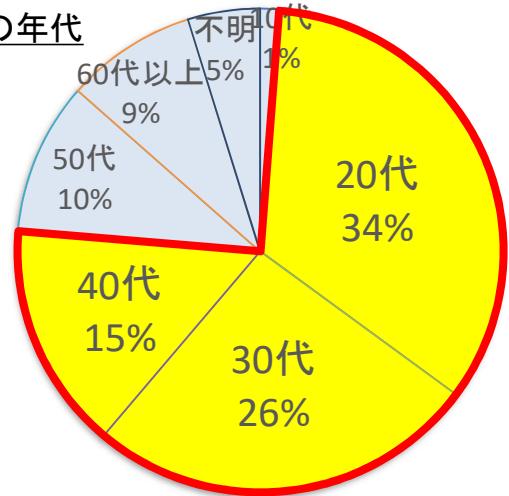
本県の社会動態・移住者数の状況④

- 県外からの移住者数は年々増加しており、R5年度は過去最高の966名。
- 世帯主の年代では、20～40代が439世帯で全体の75.0%。
- 移住前居住地では、東京都など首都圏からの移住者が多い。

○ 県・市町村の相談窓口等を通した移住者数の推移



○ 世帯主の年代



○ 移住前居住地

■ 首都圏
(東京, 神奈川, 千葉, 埼玉)
430人 (44.5%)

■ 大阪圏
(大阪, 京都, 兵庫)
90人 (9.3%)

■ 名古屋圏
(愛知, 三重, 岐阜)
96人 (9.9%)

移住前居住地	移住者数(人)
東京都	253(26.2%)
石川県	153 (15.8%)
神奈川県	80 (8.3%)
愛知県	74 (7.7%)
埼玉県	56 (5.8%)

本県の社会動態・移住者数の状況⑤

- 県外からの移住者が1,000人近くにまで増加していることは、令和5(2023)年の富山県の社会増減▲420人と比較して、相当な規模感まで増加している。
- また、移住世帯の世帯主の4分の3が20代～40代となっており、新たに移住してくる者が増加することによって、富山県の若年世代の転出超過数も相当程度減少させ得る。
- 移住者数の増加は、労働力確保や消費者の増加などの経済面にとどまらず、県民にとって、富山で暮らす魅力を再認識するきっかけや、地域に新たな活力をもたらすチャンスにつながる。
 - ・立山町に移住、里山マウンテンバイクツーリズムを実施している方
 - ・魚津市に移住、「フリーランスママ」の団体を立ち上げた方
 - ・射水市に移住、地域の若者を巻き込み、地域課題の解決に取り組む方

移住促進のための取組み①

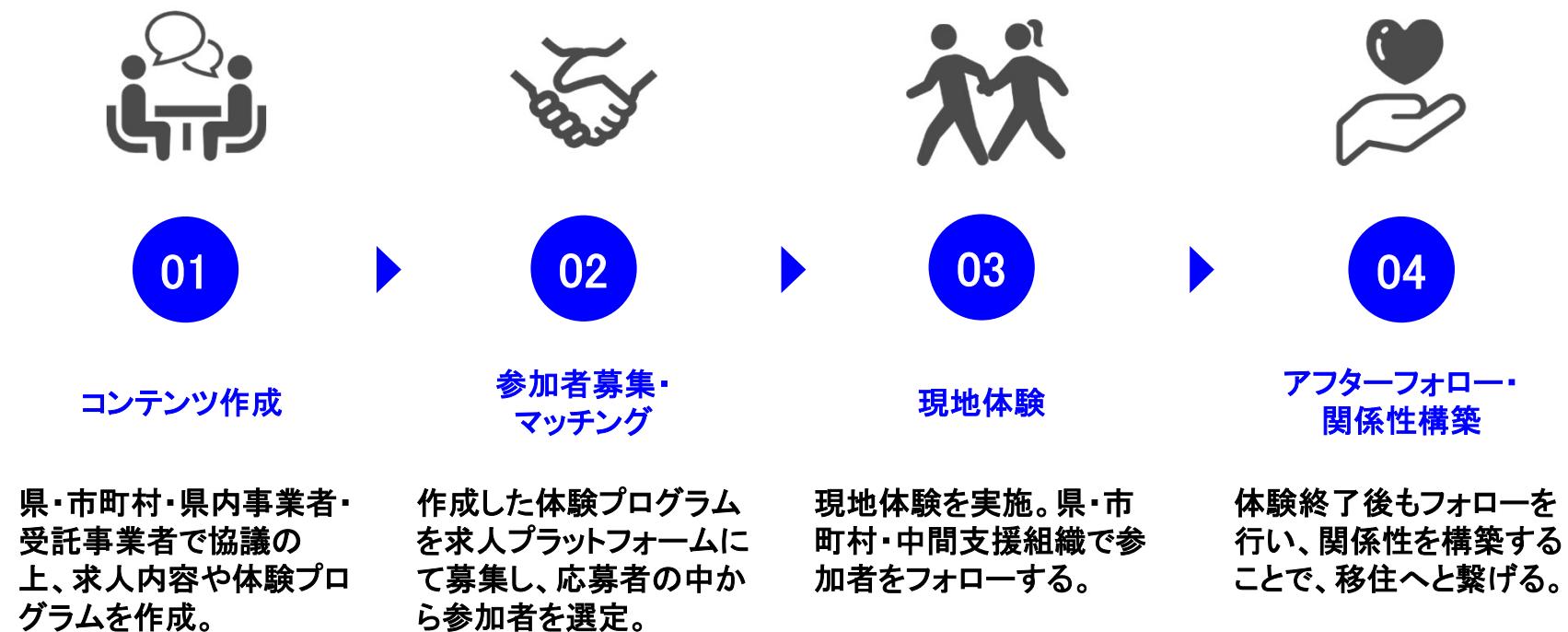
- 「移住に関心をもってもらう」、「主体的に行動してもらう」、「永く住み続けてもらう」といった移住に対する検討段階に応じて、各種の施策を実施。
- R6年度は、オンラインセミナーや移住フェアの回数を増加させ、情報発信を強化。

Step3 永く住み 続けて もらう	<ul style="list-style-type: none">○移住者受入モデル地域<6市町9地域> ①高岡市金屋町 ②南砺市城端 ③南砺市利賀 ④朝日町笹川 ⑤氷見市速川 ⑥魚津市片貝 ⑦射水市内川 ⑧氷見市論田・熊無 ⑨氷見市久目○富山県創業支援センター/創業・移住促進住宅の整備 (2022.10.28グランドオープン) 	<ul style="list-style-type: none">・移住者受入モデル地域への支援・空き家改修への支援・移住者交流会の開催・とやま移住応援団・移住ミスマッチ防止のための研修会 <p>市町村職員等対象の受け入れの際の留意点等について学ぶ研修会</p>  
Step2 主体的に 行動し てもらう	<ul style="list-style-type: none">・（拡）とやま移住魅力体験助成 移住検討者が現地訪問(住まい探し等)する際の 交通費・宿泊費助成 (R6から子育て世帯の高速道路・レンタカー利用も対象)	
Step1 移住に 関心を もって もらう	<ul style="list-style-type: none">・相談窓口・イベント会場でのVRの活用 イベント会場や相談窓口でVRを活用し富山の魅力を紹介・新)移住相談者情報管理システム導入事業 相談者の情報を記録・分析する管理システムの導入・（拡）全部伝えます！とやま移住セミナーの開催(年15回) テーマやターゲットを絞ったセミナーを開催し、地域ニーズに対応した人材獲得を推進・みんな納得！ベストマッチ相談会の開催(年3回) 移住検討者が市町村・先輩移住者等に相談し、富山を知ってもらう相談会を開催・オンライン移住相談事業 WEB会議アプリ(zoom)を使用したオンライン相談体制の整備・移住関連情報の発信 「くらしたい国、富山」HP、メルマガ、移住動画、SNSによる情報発信	 

移住促進のための取組み②

- これから本格的に移住を検討する方や、働く場所を探している方を対象に、富山県で「働きながら暮らす」体験を提供する「とやまマッチングツアー(仮)」を実施。
- 参加者は、仕事をしながら、空いた時間を地域交流や観光などに使うことで、富山県の魅力を多面的に体験することが可能。

○ フロー図



現在の課題と対応の方向性

- 移住者を増加していくためには、移住希望者から選ばれる富山県にしていく必要。
移住希望者のニーズを丁寧に拾い上げ、富山県の魅力と十分にマッチングさせることで、
移住者の増加につなげていく。
- そのため、移住希望者に対する情報発信体制の強化とともに、各部局との連携を更に
強化していくことが重要。

課題

対応の方向性

移住に関心を持たれた方の第一歩として、
相談窓口の認知度が低い

「富山暮らしの魅力」を相談窓口と
一体で発信する必要

移住者目線での「富山暮らしの魅力」を発信
できていない

「富山暮らしの魅力」を県外出身
者目線で発掘し発信する必要

移住希望者が現地を訪問しても、暮らしまで
体験することができない

移住希望者のニーズに合わせた
体験を用意する必要

担い手を確保するための施策を移住希望者
が知る機会が少ない

他部局と連携し、移住希望者に発
信する必要